

☆ 七夕まつりで願いを込めて！葉栗児童館に笑顔が咲きました ☆

7月5日（土）、葉栗児童館で七夕まつり会が開催されました。当日は午前10時から、友達や親子連れなど、28人の子どもたちと保護者の方々が次々と集まり、会場はあっという間にぎやかになりました。

七夕は、織姫と彦星が年に一度だけ出会えるロマンチックな日。先生から七夕のお話を聞いた後、みんなで笹飾りづくりを楽しみました。

色とりどりの短冊には「家族で楽しく暮らせますように」といった温かい願いや「アイドルプリキュアになれますように」「体操の大会で上位がとれますように」といった子どもらしい可愛い夢が込められていました。

短冊を壁に飾った後は、2階ホールへ移動！七夕にちなんだクイズやゲームで盛り上がり、子どもたちの元気な笑い声が児童館いっぱいに響き渡りました。会の終わりには、参加者全員にささやかなプレゼントが配られ、子どもたちは笑顔いっぱいを持ち帰りました。

今回のたなばた会が、子どもたちにとってきっと楽しい夏の思い出の1ページとなったことでしょう。



葉栗 HP

☆ 楽しい七夕会の笹竹取りに行きました！ ☆ 葉栗小学校あすなろ学級

6月16日（月）午前10時30分。葉栗小学校あすなろ学級の子どもたちが、元気な挨拶とともに金嶺寺（大毛）の緑豊かな庭に足を踏み入れました。

蒸し暑い日でしたが、一歩庭に入るとさわやかな風が吹き抜け、思わず「涼しい」と歓声が上がります。庭には美しい杉苔が生い茂り、石畳の道が続いていました。明治27年に建てられたという趣のある母屋に上がると、石井康州住職から、庭にある亀石や座禅石、手水鉢の下に隠された水琴窟^{すいきんくつ}について説明を受け、子どもたちは日本庭園の魅力に感心しきりでした。

早速、裏手の竹林で笹竹取り作業に取り掛かります。子どもたちは思い思いの笹竹を見つけては手際よく切り取り、学校に飾るための太い笹竹もみんなで協力して運び出しました。この楽しいひとときを経て持ち帰った笹竹には、願いを込めて書かれた短冊が飾られ、今年も素晴らしい七夕飾りが完成しました。

